

確かな学力育成のために

1. 研究主題

主体的に学習に取り組み，互いに学び合う児童の育成
～指導方法の工夫とカリキュラムマネジメントの充実を通して～

2. 短期経営目標

- ◎複式授業（少人数教育）を充実させる。
- 主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- 各種学力調査の目標値を達成させる。

3. 評価指標と目標値

	方策	評価指標	目標値
(1)	意欲的に学習に取り組む姿勢（授業に臨む態度）	学期ごとの児童の自己評価と教師評価	85%
(2)	思いや考えを伝え合い，練り合う力を向上させ，互いに学び合う学級づくりを続けていく。	学期ごとの児童の自己評価と教師評価	85%
(3)	少人数指導や複式学級の指導のよさを生かし，児童一人一人にきめ細かい指導を行う。	標準学力調査	全国平均+5ポイント
(4)	道徳科についての児童の意識調査	児童の自己評価	85%以上

4. 校内研修の予定

日 時 等		学年・教科		授業者	講 師
6 月 5 日（水）	5 校時	道徳 5・6 年		望月	広島大学大学院 教育学研究科 教職開発講座 教授 宮里 智恵 先生
		事後指導・指導講話			
6 月 1 8 日（火）	5 校時	算数（特別支援教育）3・4・6 年		立田	三原特別支援学校大崎分教室 教頭 井上 彰美先生
1 0 月 2 日（水）	5 校時	算数 4 年		上川	元江田島市立江田島小学校長 大松先生
		事後指導・指導講話			
1 1 月 2 0 日（水）	5 校時	道徳 1・2 年		須賀	広島大学大学院 教育学研究科 教職開発講座 教授 宮里 智恵 先生
		事後指導・指導講話			

- ・可能であれば、授業研までに、模擬授業を行う。
- ・授業研究の指導案は、細案を書く。
- ・指導案の枠や余白・フォントなどを校内で統一する。
- ・指導案や要項の数字について、1 桁は全角、2 桁以上は半角に統一する。

【指導案の保存場所】 disk→R6 年度データ→3③研究推進部→（各教科）→指導案 枠
--